

2016年10月13日 全8頁

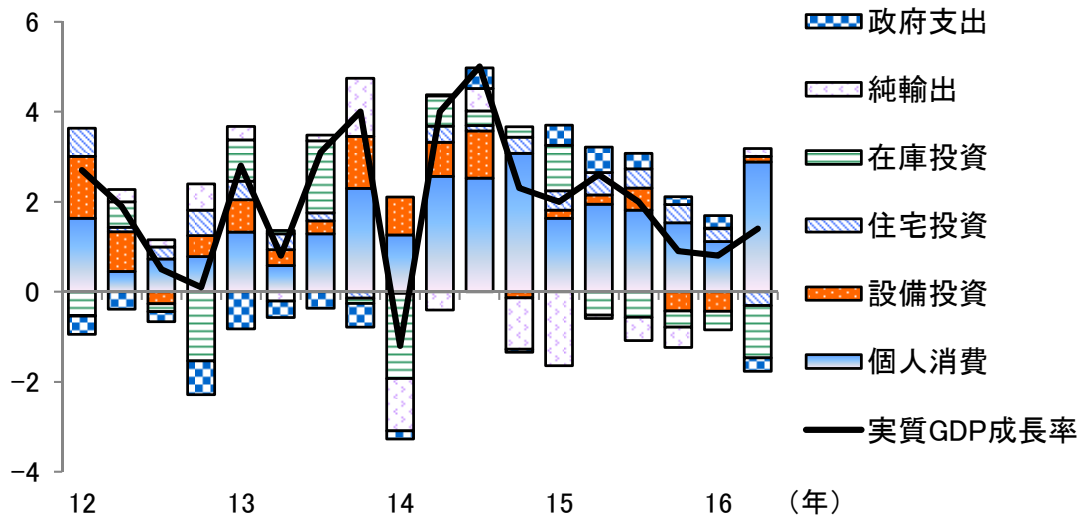
アメリカ経済グラフポケット (2016年10月号)

2016年10月11日発表分までの主要経済指標

ニューヨークリサーチセンター
上野 まな美
エコノミスト 橋本 政彦

実質GDPの推移

(前期比年率、%、%pt)



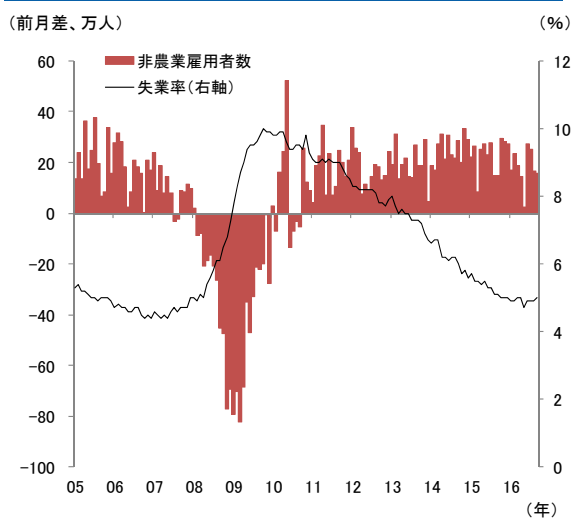
(前期比年率、%、%pt)	2014		2015				2016	
	7-9	10-12	1-3	4-6	7-9	10-12	1-3	4-6
国内総生産	5.0	2.3	2.0	2.6	2.0	0.9	0.8	1.4
個人消費	3.7	4.6	2.4	2.9	2.7	2.3	1.6	4.3
設備投資	8.3	-1.1	1.3	1.6	3.9	-3.3	-3.4	1.0
住宅投資	3.6	11.4	13.3	14.9	12.6	11.5	7.8	-7.7
政府支出	2.5	-0.4	2.6	3.2	1.9	1.0	1.6	-1.7
輸出	2.1	4.5	-5.8	2.9	-2.8	-2.7	-0.7	1.8
輸入	-1.2	11.2	5.6	2.9	1.1	0.7	-0.6	0.2
寄与度								
個人消費	2.5	3.1	1.6	1.9	1.8	1.5	1.1	2.9
設備投資	1.1	-0.1	0.2	0.2	0.5	-0.4	-0.4	0.1
住宅投資	0.1	0.4	0.4	0.5	0.4	0.4	0.3	-0.3
在庫投資	0.3	0.2	1.0	-0.5	-0.6	-0.4	-0.4	-1.2
政府支出	0.5	-0.1	0.5	0.6	0.3	0.2	0.3	-0.3
輸出	0.3	0.6	-0.8	0.4	-0.4	-0.3	-0.1	0.2
輸入	0.2	-1.7	-0.9	-0.4	-0.2	-0.1	0.1	0.0

(出所) BEA, Haver Analyticsより大和総研作成

雇用環境¹

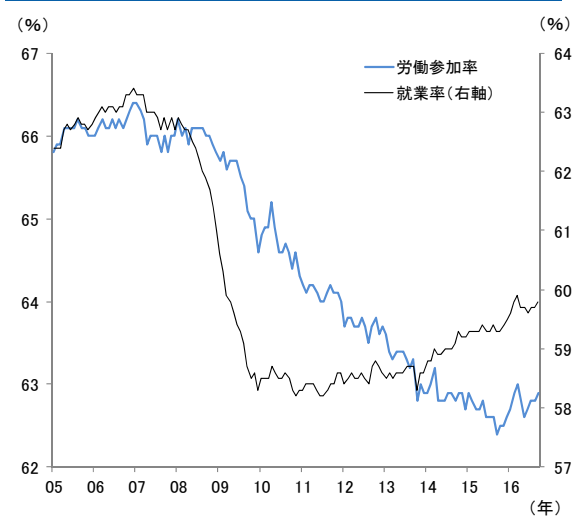
- ◆ 2016年9月の失業率は5.0%と前月から0.1%ポイント上昇し、3ヵ月ぶりの上昇となった。労働参加率の上昇が失業率を押し上げたため、失業率が前月から悪化した。
- ◆ 9月の非農業雇用者数の前月差は15.6万人増と雇用者数の伸びが3ヵ月連続で縮小し、減速気味である。非農業雇用者数の前月差の6ヵ月平均は16.9万人増であった。

非農業雇用者数と失業率



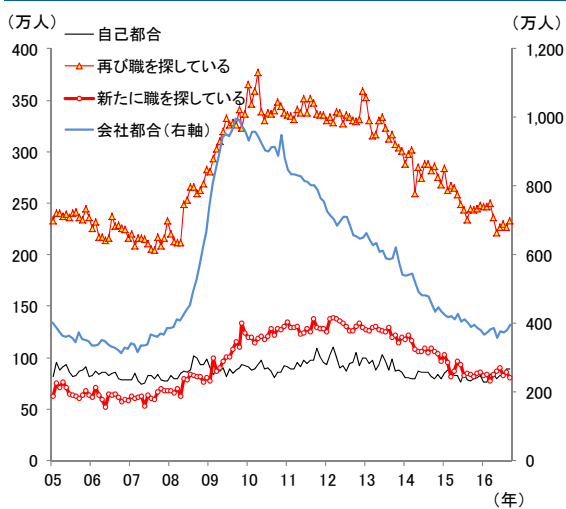
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

労働参加率と就業率



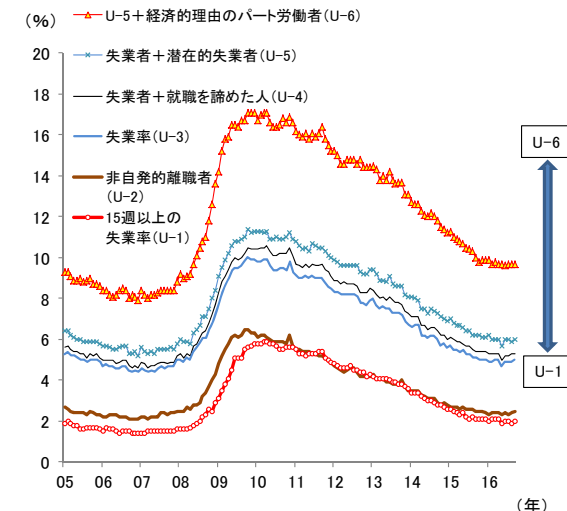
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

理由別失業者数



(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

定義別失業率



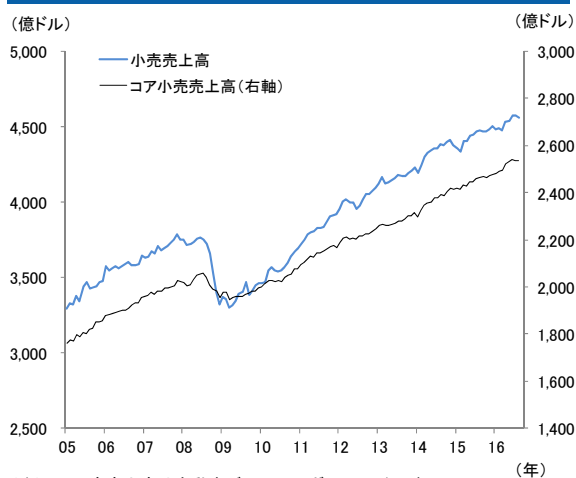
(出所)BLS, Haver Analyticsより大和総研作成

¹ 大和総研 ニューヨークリサーチセンター 橋本政彦「年内利上げには十分な結果」(2016年10月11日) 参照。 http://www.dir.co.jp/research/report/overseas/usa/20161011_011308.html

個人消費

- ◆ 2016年8月の小売売上高は前月比0.3%減少し、3月以来初めての減少となった。コア小売売上高も0.1%減少し、2ヵ月連続で減少した。
- ◆ 9月の自動車販売台数は前月比4.5%増加し、年率換算で1,776万台であった。自動車メーカーがディーラーに対して過去最高の販売奨励金を出したことが寄与し、増加に転じた。
- ◆ 9月のロイター/ミシガン大消費者センチメントは、前月の89.8から91.2へと上昇した。現況指数が低下する一方で期待指数が上昇し、5月以来の上昇となった。

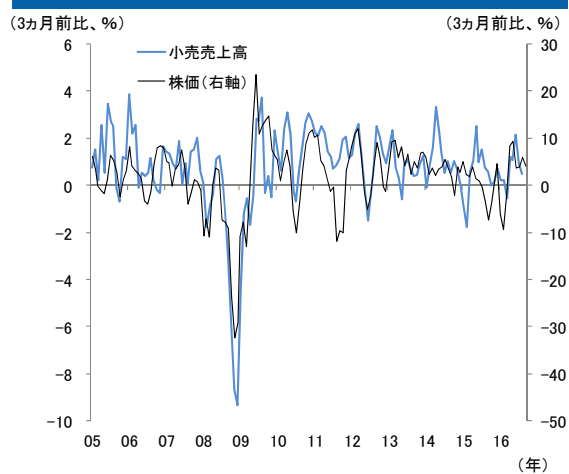
小売売上高の推移



(注)コア小売売上高は自動車ディーラー、ガソリンスタンド、
建材・園芸、飲食サービスを除く。

(出所) Census, Haver Analyticsより大和総研作成

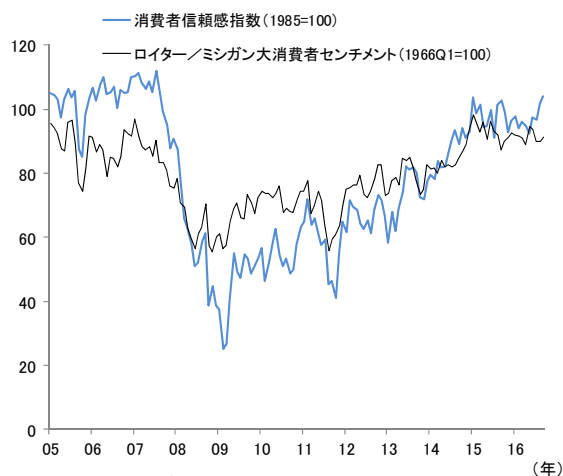
消費と株価



(注) 株価はWilshire5000。

(出所) Census, Dow Jones, Haver Analyticsより大和総研作成

消費者マインド



(出所)ロイター/ミシガン大, Conference Board, Haver Analyticsより
大和総研作成

自動車販売台数



(出所) Autodata, Haver Analyticsより大和総研作成

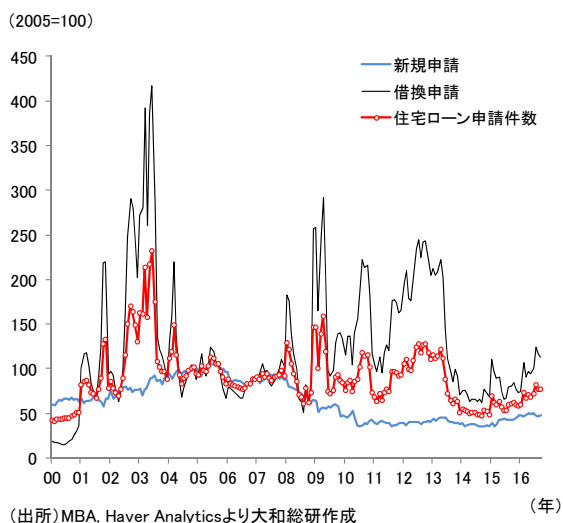
住宅市場

- ◆ 2016年8月の新築住宅着工（一戸建てと集合住宅を含む）は、前月比5.8%減の年率換算114.2万戸であった。一戸建てと集合住宅がともに減少し、3ヵ月ぶりの減少となった。
- ◆ 8月の中古住宅販売（一戸建て）は、前月比2.3%減の年率換算470.0万戸であった。住宅の在庫不足と住宅価格の上昇により2ヵ月連続で減少したものの、高水準を維持している。
- ◆ 8月の新築住宅販売（一戸建て）は前月比7.6%減の年率換算60.9万戸となった。2007年10月以来の高水準となった前月から減少したが、引き続き高水準である。
- ◆ 7月のケースシラー住宅価格指数（20都市）は前月から横ばいとなり、頭打ち傾向が続いている。

住宅販売（一戸建て）



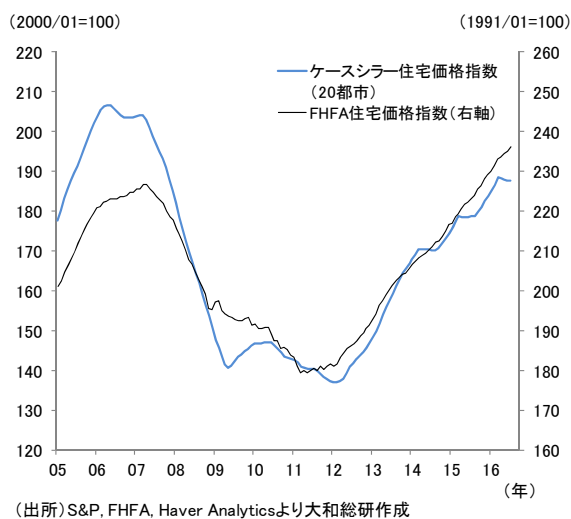
住宅ローン申請件数



住宅着工と建設業者の景況感



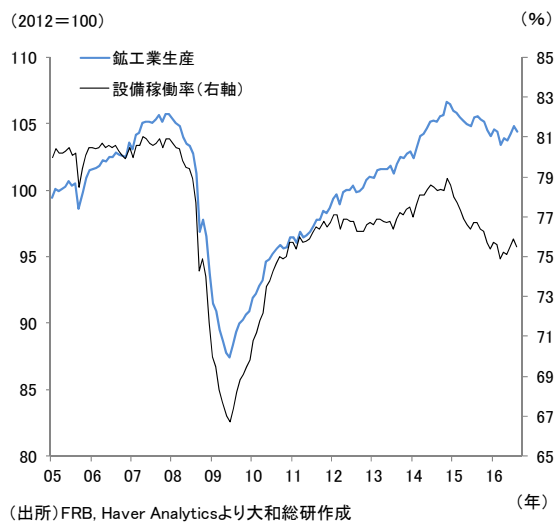
住宅価格



企業動向

- ◆ 2016年8月の鉱工業生産指数は前月比0.4%低下した。前月は2015年7月以来の大幅な上昇率となったが、低下に転じた。指数全体の約8割を占める製造業(SICベース)は、同0.4%低下した。
- ◆ 8月の国防・民間航空機を除く資本財受注(コア資本財受注)は前月比0.9%増加し、3ヵ月連続の増加となった。
- ◆ 9月のISM製造業指数は前月から2.1%ポイント上昇し、51.5%であった。新規受注の好調により、2ヵ月ぶりに基準となる50%を再び上回った。非製造業指数も同5.7%ポイント上昇して57.1%となり、2015年10月以来の高水準となった。

鉱工業生産と設備稼働率



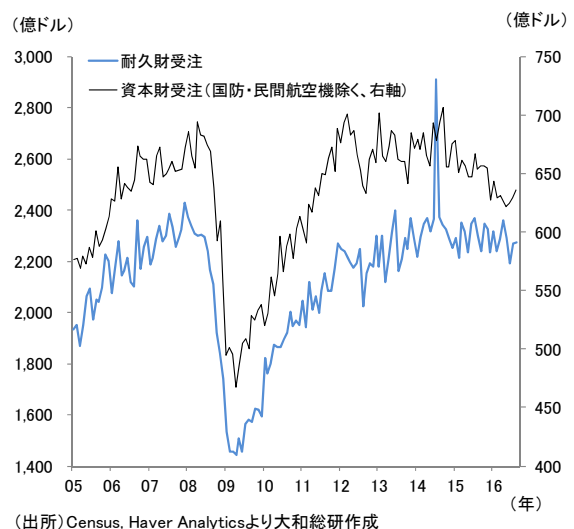
企業の景況感



製造業の出荷・在庫



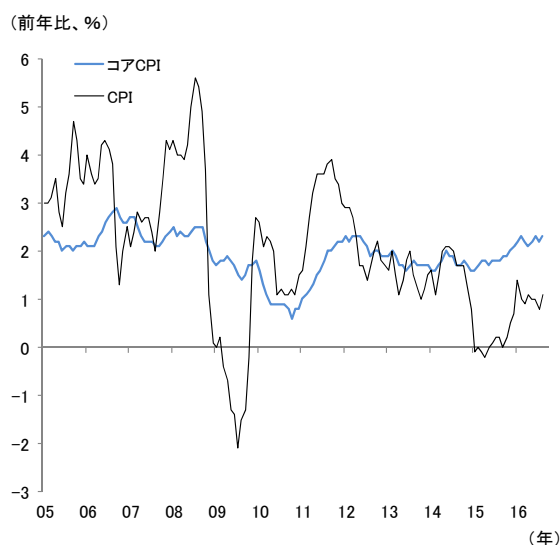
耐久財受注



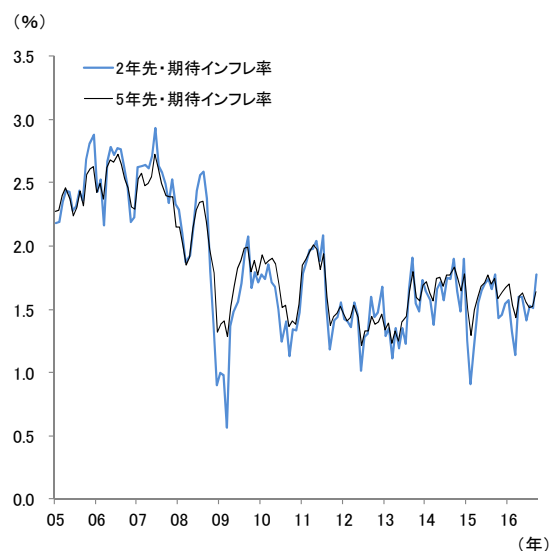
物価動向

- ◆ 2016年8月のCPI（消費者物価指数）は前年比1.1%上昇した。インフレ率はFRBの長期目標である2%を下回る推移が続いている。コアCPIは同2.3%上昇した。
- ◆ 9月の2年先期待インフレ率は1.77%と前月から上昇し、5年先期待インフレ率も1.64%で前月から上昇した。
- ◆ 9月末のWTI原油先物価格は48.24ドル/バレルで、8月末の44.70ドル/バレルから上昇した。9月28日にOPECが8年ぶりとなる減産を合意したことにより、価格が上昇した。

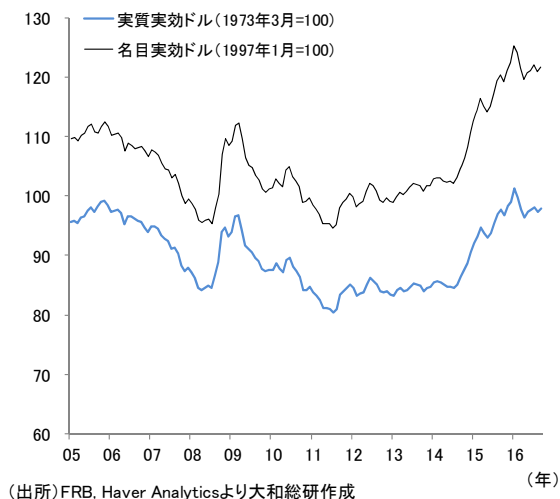
消費者物価指数



期待インフレ率



実効為替レート(ブロード)



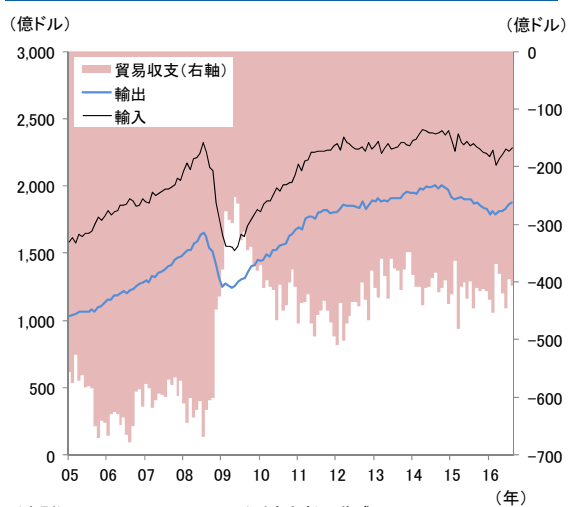
コモディティ価格



輸出入・経常収支

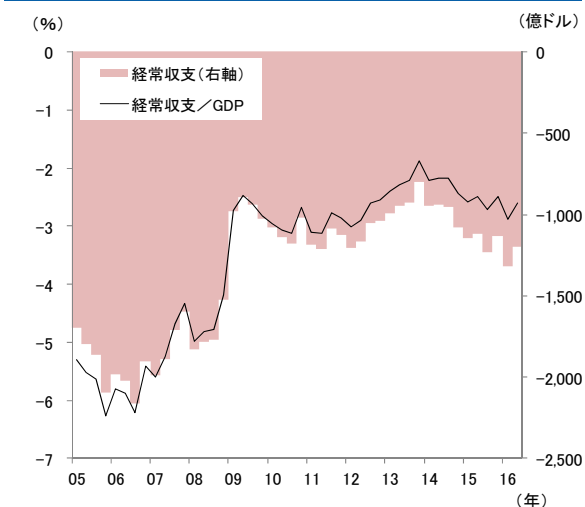
- ◆ 2016年8月の貿易収支（財・サービス）は、輸出が前月比0.8%増加し、輸入も同1.2%増加した。この結果、貿易赤字は同3.0%増の約407億ドルに拡大した。
- ◆ 輸出入（財）を商品別に見ると、輸出では非貨幣用金などの工業用品・材料が増加した。輸入では民間航空機といった資本財の増加が全体を押し上げた。
- ◆ 地域別（財）では、欧州への輸出が前年比4.1%増加し、中国向けが同2.4%増加、日本向けも同0.6%増加した。輸入は、日本からの輸入が同8.5%増加し、欧州からの輸入も同2.4%増加したが、中国からの輸入は同2.0%減少した。中国からの輸入は6ヵ月連続で前年を下回った。

貿易収支動向



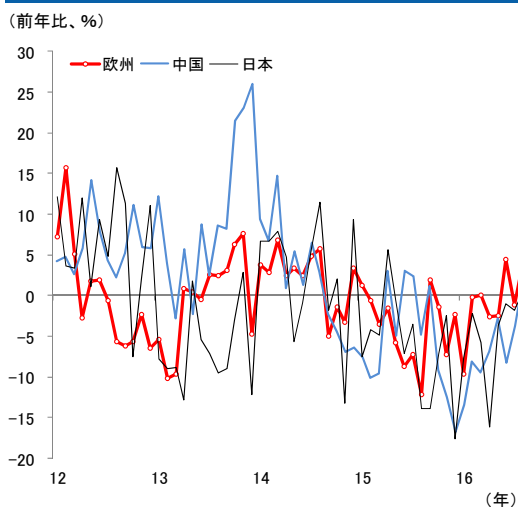
(出所) Census, Haver Analyticsより大和総研作成

経常収支の推移



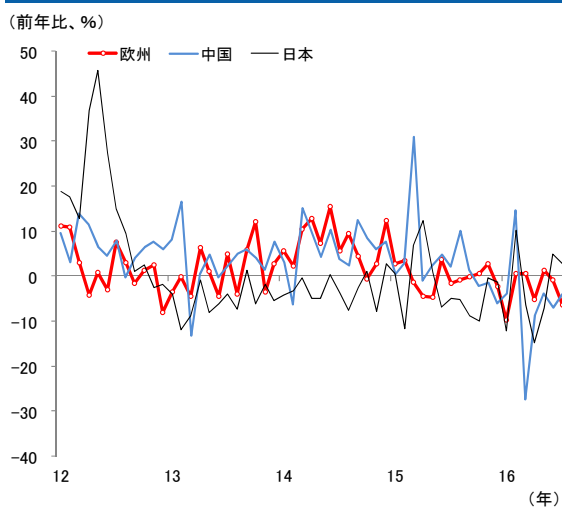
(出所) BEA, Haver Analyticsより大和総研作成

国・地域別輸出動向



(出所) Census, Haver Analyticsより大和総研作成

国・地域別輸入動向

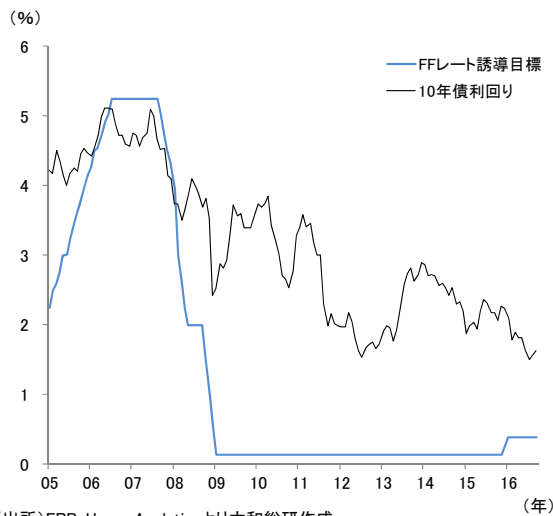


(出所) Census, Haver Analyticsより大和総研作成

金融・財政

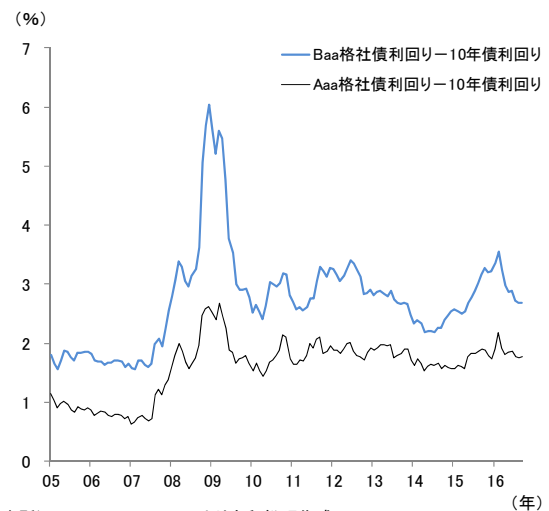
- ◆ 2016年9月のFOMC（連邦公開市場委員会）において、政策金利であるFF（フェデラルファンド）レートの目標レンジが据え置かれた。また、保有する資産規模については、現在の水準を維持することが決定された。FRBの資産残高は、直近の10月5日の週平均が約4兆5,000億ドルであった。
- ◆ 9月の長期金利（10年債利回り）の平均値は1.63%となった。FOMCで利上げが見送られたものの、年内の利上げ観測が高まったことなどから前月より若干上昇した。
- ◆ 連邦政府の財政収支（12ヵ月平均）は、トレンドとして赤字幅が縮小してきたが、このところ足踏みが見られている。

政策金利・長期金利



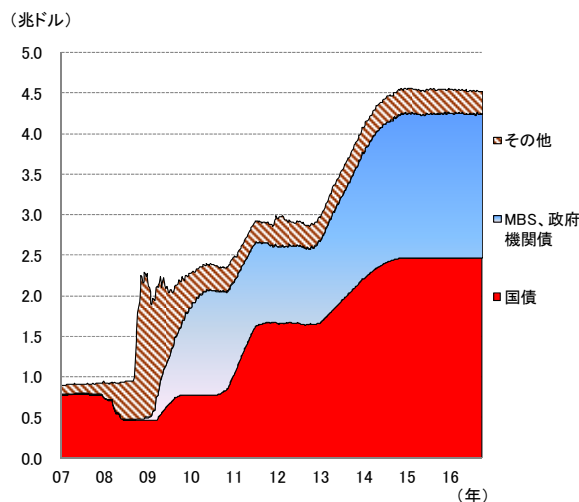
(出所)FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

クレジットスプレッド



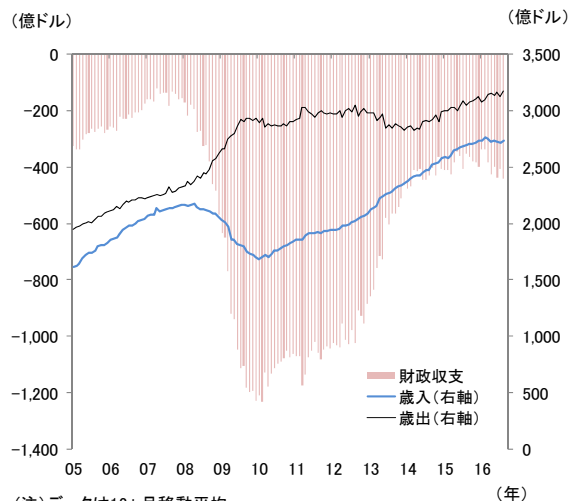
(出所)FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

FRBの資産構成



(出所)FRB, Haver Analyticsより大和総研作成

連邦政府の財政収支



(注)データは12ヵ月移動平均。

(出所)米財務省, Haver Analyticsより大和総研作成